

議案第1号 2008（平成20）年度活動報告について

はじめに

2009年3月27日、第1回定例道議会において全会派賛成のもと「北海道障がい者及び障がい児の権利擁護並びに障がい者及び障がい児が暮らしやすい地域づくりの推進に関する条例（以下、北海道条例）」が成立した。この条例は、2007年11月23日に「第6回DPI世界会議札幌大会（以下、DPI札幌大会）」開催5周年と同年9月に韓国で開かれた「第7回DPI世界会議韓国大会（以下、DPI韓国大会）」を記念してDPI北海道ブロック会議（以下、DPI北海道）が開催した「障害者権利法制の確立に関するセミナー」が大きなきっかけとなった。

この北海道条例は、千葉県に続き障害者の差別をなくし、誰もがともに暮らすことのできる地域づくりを進めるための条例である。私たちは、今後、この条例を、確実に道内に普及し、障害があっても差別や偏見を受けることがなく、誰もが暮らしやすい北海道づくりを進めるために育てていくことが必要である。

「駐車禁止除外指定車標章（以下、標章）」は各都道府県で交付条件が異なるが、2007年2月6日に出された警察庁通達に基づき、各都道府県において交通規則細則の改正が行われた。この改正では、本人や家族が車両を所有していなくても標章が交付されるなど、その使用方法が緩和されたり、従来交付対象となっていなかった障害者も対象となるなどの改善が図られた。しかし、反面、北海道では、標章を使用できていた下肢障害者が交付対象外となってしまった。

これを受けて、私たちは、DPI北海道を構成し、この改正により直接影響を受ける当事者団体との協議に基づき共同行動を進め、その結果、狭められた交付対象範囲を回復することができた。

「障害者自立支援法（以下、自立支援法）」および障害者の居宅支援施策に関する取り組みは、10月に日比谷野外音楽堂（東京）で開催された全国大行動に続き、北海道でも、継続した取り組みを進めてきた。

また、厚生労働省が公募した事案に対する検討とパブリックコメントの提出や、北海道および札幌市が見直しを進めた「障害福祉計画」に関する意見交換やパブリックコメントも提出し、利用者および支援者としての立場から、こうした政策課題に対する当事者の参画を進めてきた。

「札幌市障がい者交通費助成制度（以下、交通費助成制度）」の見直しについては、市としての提案経過やその内容から、多くの障害者団体の反発を招いた。DPI北海道も市に対して、この間の一連の経過や市の姿勢に対して質問と意見を提出した。その後、市および「札幌市障がい者による政策提言サポーター（以下、サポーター会議）」との意見交換を実施するとともに、市議会各会派との意見交換においても、この課題に関する議論も交わした。こうした多くの団体の行動の結果、今年の4月実施は、見送られた。

「後期高齢者医療制度（以下、後期高齢医療）」の実施に伴う道の「重度心身障害者医療費助成制度（以下、重度医療）」の運用については、本来、後期高齢医療が、本人の任意に基づく選択とされており、多くの自治体では、この両制度が無関係なものとされているが、北海道は、後期高齢医療への加入が、重度医療を継続して利用できるための条件にしている。そのため、関係団体とともに後期高齢医療に加入しなくても重度医療の受給資格を喪失させないことを道へ要望書として提出し、北海道議会に陳情書を提出したが、問題は、まだ、改善にはいたっていない。

以下、こうした総括報告を踏まえて、上記の各課題に関する取り組み報告とする。

権利法制の確立に関する取り組みについて～北海道条例の制定に向けて～

2009年3月27日22時58分、支庁再編問題で紛糾する第1回定例道議会本会議において北海道条例が全会一致で可決成立した。

この条例制定のきっかけになったのは、DPI北海道が2007年11月23日に北海道新聞社会福祉振興基金の助成を受けて開催した「障害者権利法制の確立に関するセミナー（以下、11.23セミナー）」であった。

このセミナーでは韓国DPI事務処長&ソウルDPI会長の魏文淑（ウィ・ムンスク）氏を招き、「韓国障害者差別禁止法と私たち（韓国DPI）の取り組み」と題してこの年の3月に韓国で成立した差別禁止法と同じく9月に開催されたDPI韓国大会についての講演を行った。また、我が国ではじめて障害者の差別をなくす条例が成立した千葉県からは、障害者計画推進室長の横山正博氏にパネリストとして出席頂き、千葉県における条例制定に向けた経過と条例の概要についての報告を受けた。

同時にDPI札幌大会において組織委員会の参与を担って頂いた北海道議会各会派（1会派欠席）からも個人の立場で登壇頂くとともに、道の担当課長にもパネリストとして出席頂いた。

そして、このパネルディスカッションの中で、自民党、民主党、公明党および共産党の各議員から、北海道にも同様の条例をつくる必要性と、DPI北海道を含め、それぞれがその立場から、必要な行動をとることが確認された。

その後、自民党は、会派内に研究会を設置し、条例骨子案を示すとともに、道内の主要な障害者団体との意見交換会の設定や広く意見を求めていった。民主党も内部にプロジェクトチームを発足させるとともに、連合北海道やDPI北海道を委員とする外部プロジェクトチームも設置した。

2008年6月28日、DPI北海道は、通常総会記念イベントとして「障害があっても暮らしやすい北海道づくりを考えるフォーラム」を開催した。

このフォーラムでは、11.23セミナーに道内から出席した登壇者（道議会議員と担当課長）が全員出席したが、この日は、前回と異なり個人の立場ではなく、それぞれの会派を代表しての出席であった。

「障害児・者が暮らしやすい北海道づくりを進めるために」と題したシンポジウムでは、各会派が条例に盛り込みたいとする内容や条例づくりに向けた取り組み状況が報告され、各会派の独自の動きが進められても、超党派による協議を重ね、議員提案として年度内の成立を目標とすることが確認された。これらの集会の発言内容は、各発言者への確認に基づき、DPI北海道のホームページに今も掲載している。

この集会前後から、自民党は、知事も出席した懇談会を道内の主要な市で開催するとともに、党のホームページに条例骨子案を示し、パブリックコメントを募集した。民主党も道内各地で懇談会を行うとともに、DPI北海道等との協働作業によってアンケートを作成し、障害者や家族が受けてきた体験を募集し、障害者が受けてきた具体的な体験から差別や配慮の定義や条例に反映させるべき項目の把握に努めた。

DPI北海道や今年の総会開催地である函館の当事者は、こうした各会派が設定する集会や懇談会に出席するとともに自ら主体的な意見交換の場を設定してきた。

北海道における条例づくりの経過は、障害および議会による当事者運動としての側面が強い。そのため、千葉県の制定経過と比較したときに、その議論過程は不十分かもしれないが、成立した条例の内容や附則からも、条例成立が、その理念を実現するためのスタートラインであるといえる。今年、道庁には、条例担当が配置されたが、今後は、議会、行政、当事者および関係者のより一層の取り組みが重要となる。

「駐車禁止除外指定車標章の見直し」に関する取り組みについて

この見直しによる交付対象の縮小範囲を回復するために、DPI北海道と加盟団体は、2007年1月から3月まで実施した、調査に基づき、標章が交付されないことによって生じる障害者の困難な状況等を報告書としてまとめて、北海道警察や関係者へ実状を伝えるために活用した。

また、この報告書を資料として、署名活動を進め、2008年9月24日に北海道議会に制度の対象外とされた下肢障害者等への交付を求める請願書に、請願署名として106,926筆を添えて提出することができた。この署名は、最終的には、107,944筆に達した。

その後、北海道警察との意見交換や北海道議会における議論を経るなか、12月18日には警察庁から下肢不自由の障害を有する者に係る駐車規制からの除外措置の対象範囲を「1級から3級の1までの各級」を「1級から4級までの各級」に変更されることが、通知された。

そして、今年の2月18日に北海道公安委員会においては、道公安委員会規則を改正し、4級までを本規則で、5級と平衡、体幹を附則で対象とすることが承認され、同月27日の北海道公報にて告知された。

こうした運動の広がりや北海道警察の理解により、2007年の改正に伴い対象外となっていた障害者については、対象者に戻され、北海道警察のホームページでも紹介されている。なお、全国は4級までとなっている。

今回の結果は、この制度見直しによって影響を受ける当事者自身が、自らの生活状況から、生の声として問題点を指摘してきたこと。そうした当事者とこの問題改善のために理解と協力を多くの団体や個人が行動を起こして頂けたこと。また、こうした状況をテレビや新聞などのマスコミが報道して頂けたこと。そして、北海道議会および北海道公安委員会、北海道警察などの理解を得られたためであるといえる。

「札幌市障がい者交通費助成制度の見直し」に関する取り組みについて

2007年12月4日、交通費助成制度の見直し内容は、札幌市議会厚生委員に示された。その資料には、見直しの根拠として、同年8月9日から31日に実施したアンケート調査結果を根拠としたものであった、しかし、この「障がい者交通費助成制度に関するアンケート調査」については、同年11月18日に、開催された「意見交換会―障害のある方の社会参加を考える＝交通費助成の在り方について」に出席した複数の障害者や支援者から、この意見交換会において、札幌市から「このアンケート結果を交通費助成の見直しの根拠としない。」と明言しているとの報告を受けていたのである。

そのため、2008年2月26日に開催された札幌市議会厚生委員会には、具体的な見直し案が提示されたことから、DPI北海道はじめ、多くの団体の障害者が傍聴した。

こうした経過とその内容が、この制度見直しに対する大きな反対運動に広がっていった。

DPI北海道は、札幌市に対して、この間の経過と市の姿勢に対する質問と意見を2008年8月に提出した。

多くの障害者団体の反対により、2009年4月の見直しは、延期され、市は、サポーター会議にも、見直し内容に関する検討を依頼するとともに、各障害者団体との意見交換も重ねていった。

DPI北海道としては、この見直しに反対する団体によって構成される「札幌市の障害者交通費助成削減に反対する連絡会」の統一要望書に賛同するとともに、サポーター会議の意向を尊重した取り組みを進めている。

なお、サポーター会議は、この見直しに対して、2008年9月に「2009年4月の実施の見送りと事業見直しについての議論を充分に行うよう」札幌市長に提言した。その後、「障がい者の声を聞く集い」を5回、開催するとともに、各障害者団体とも個別に意見交換を行った。

そして、「現行の交通費助成利用者に影響がでないこと。」、「一番制度の遅れている精神障害者に対する助成の充実を図る。」などの提言を2009年4月に行っている。

DPI北海道は、当事者を主体とした、この制度を引き続き支持するとともに、DPI北海道の理事でありサポーターである当事者との連携した対応も引き続き進めていく必要がある。

「障害者自立支援法」に関する取り組みについて

2008年10月26日、「10.31全国大フォーラム」に賛同して、実行委員会主催による「障害者自立支援法」10.26北海道フォーラムを約200名の参加者を迎えて2008年度も開催した。

今回のフォーラムでは、労働経済学を専門分野とする研究者から、介護労働の現場に関する実態から、社会保障構造改革についての現状と課題報告を受けた。その後のパネルディスカッションでは、障害当事者、支援者、行政、研究者をパネリストに迎えるとともに会場からの指定発言を受けて、自立支援法が施行さ

れて以降起きてきた諸問題を改めて確認し、その改善に向けた議論を進めた。そして、ここで交わされた議論と、この間、検証してきた課題とを併せたパブリックコメントを厚生労働省に提出した。

なお、自立支援法の課題については、本来あるべき障害者の居宅支援のあり方を中心とした運動をつくるために「居宅支援に関する勉強会（以下、居宅勉強会）」をDPI北海道内に設置した。

障害者の居宅支援施策に関する取り組みについて

～「居宅支援に関する勉強会」から～

2006年から施行された自立支援法が2009年で3年目を迎え、その附則に基づき、大幅な見直しをする年になった。そのため、6月から居宅支援、移動支援、重度訪問介護を中心とした障害者が必要とする居宅支援に関する勉強会を開始した。

勉強会における具体的な視点としては、「制度と利用者の生活実態」、「地域移行への具体的な対応」、「請求・管理等の事務処理の改善」、「人材確保」等々について、障害者の生活上のニーズとその充足のための対応についてなどの検証を行ってきた。

現在、この勉強会は、障害当事者および支援者がそれぞれの立場から意見を出し合える場となっている。

また、北海道および札幌市が見直す、第2期障害福祉計画（案）についても意見交換会を行うとともに、北海道や札幌市が設定したタウンミーティングへ出席と発言および北海道が設置した「北海道地域生活移行システム検討委員会」にも担当役員が検討委員として参画し、当事者としての声を発信してきた。

なお、厚生労働省が公募した「平成21年度障害福祉サービス報酬改定（案）」についても検討し3月にパブリックコメントを提出した。

「後期高齢者医療制度」の実施に伴う

道の「重度心身障害者医療費助成制度」の運用に関する取り組みについて

2008年4月から実施された後期高齢医療は75歳以上の高齢者と65歳以上の一定の障害のある方を対象とした新たな保険制度である。しかし、当該障害者は、それまで加入していた保険から後期高齢医療に移行することについては、その選択権が認められている。ところが、北海道をはじめとする1道7県は移行することを選択しない場合は、重度医療を受けることができないこととしている。

これは、移行を選択しなければ重度医療の適用外となり、その結果、医療費負担が増額されるため、自己選択ではなく、事実上の強制措置といえる。

このことに対して、制度の趣旨に基づき、どちらを選択しても重度医療が使えるように、8月27日に北海道に要望書を提出し意見交換を行った。

北海道は「重度医療は、道の独自事業であるため国が関与するものではない。また、今回の対応は、財政面が一番の理由である」と答えた。

その後、9月3日に、北海道議会に現在の取り扱いの撤廃を求めて陳情書を提出したが、改善には至っていない。

おわりに

社団法人札幌市身体障害者福祉協会の会長であり、DPI北海道の名誉会長であり、DPI札幌大会組織委員会の会長であった神田直也氏が、2009年2月3日、81歳で逝去された。

神田会長の訃報は、DPI世界会議にも知らされ、多くの国々の障害当事者や関係者から、その死を悼むメ

ッセージとDPI札幌大会における札幌の最高責任者として果たした功績に賞賛の声が寄せられた。

DPI世界本部では、神田会長の訃報を受けて、哀悼の意をそのホームページに掲載するとともに、これまで世界の障害者の人権と尊厳を守るために活動し、大きな影響をもたらした関係者の殿堂を設置するための動きがはじまっている。

DPI北海道は、神田会長のこれまでの功績を忘れることなく、その「想い」と「行動力」に学び、引き継ぎ、自らの役割とその責務を果たすことを確認することが必要である。

また、「重度医療」の見直し問題への対応。そして、それ以降、全国の障害者にとって現在、共通する最大の問題のひとつである自立支援法に対する運動において、道内の様々な障害者団体が連帯した行動を進めるための牽引役であり中心的な役割を果たし続けてこられた黒沢彬氏（障害者の生活と権利を守る北海道連絡協議会）が2009年2月1日に逝去された。北海道における、「重度医療」および「自立支援法」に関する運動は、黒沢氏の存在とその行動力によって、つくられたといっても過言ではない。

DPI北海道は、黒沢氏の存在を忘れることなく、引き続きともに創りあげてきた連帯と運動を継続していくことを確認することが、必要である。

神田会長と黒沢氏の死は、一昨年富田直史氏の死に続き、DPI北海道と北海道の障害当事者運動にとっては、大きな衝撃であり、悲しみであるが、お二人とともに進めてきた運動を、引き続き発展させ続けることが、私たちが、お二人に示すことのできる弔意である。

2008年度のDPI北海道の活動経過報告の最後に、改めて、その人生をまっとうし、私たち障害者の人権と尊厳を守るために歩み続けられた神田会長と黒沢氏に、感謝と敬意と弔意を表するものである。

なお、DPI北海道の昨年度の具体的な活動状況は、別表1のとおり報告する。

1 組織活動

(1) 国際関係

① DPIアジア太平洋ブロック評議会[タイ：バンコク](7月2～4日)

② DPI世界評議会[パナマ](7月22～24日)

(2) DPI日本会議関連について

① 第24回DPI日本会議全国集会in岩手大会[盛岡市：アイーナホール](6月14～15日)

— テーマ「地域で共に学び、暮らせる社会へ～おでんせ！岩手～」—

プログラム 1日目 NPO法人DPI日本会議2008年度総会

2日目 9:30～ 9:45 開会式

9:45～12:30 全体会

特別報告「障害者の権利条約と障害者基本法の見直しについて」

須田康幸氏（内閣府政策統括官付障害者施策担当）

「障害者の権利条約と国内法整備の課題」

東 俊裕（DPI日本会議条約担当役員）

シンポジウム「障害者差別禁止法と自治体条例の制定に向けて」

13:30～16:30 分科会・特別分科会・特別企画

分科会 1 地域生活支援「どうなる？障害者自立支援法、どう実現する！自立生活・地域社会へのインクルージョン」

分科会 2 交通・まちづくり「地域の交通・まちづくりの課題とバリアフリー新法」

分科会 3 権利擁護「障害者差別禁止法に望むこと」

分科会 4 教育「権利条約批准に向けて、インクルーシブ教育へ転換しよう！」

特別分科会 労働「障害者雇用の現状と課題から検証する」

特別企画 DPI女性障害者ネットワークによる映画上映&意見交換会

映画「忘れてほしゅうない — 隠されてきた強制不妊手術」

② 第24回DPI日本会議総会[東京：全国心身障害児福祉財団ビル]（7月20日）

③ DPI日本会議常任委員会（2ヵ月1回開催）

ア．2007年度第5回会議開催[東京：和泉橋区民館]（4月19～20日）

イ．2008年度第1回会議開催[東京：全国心身障害児福祉財団ビル]（7月20日）

ウ．2008年度第2回会議開催[東京：東京国際センター・麹町区民館]（8月23～24日）

エ．2008年度第3回会議開催[東京：麹町区民会館・新宿区障害者福祉センター]（10月11～12日）

オ．2008年度第4回会議開催[東京：和泉橋区民館]（12月27～28日）

カ．2008年度第5回会議開催[東京：全国心身障害児福祉財団ビル]（1月31日～2月1日）

④ DPI日本会議役員会議（2ヵ月1回開催）

ア．2007年度臨時会議開催[東京：和泉橋区民会館]（4月6日）

イ．2007年度第6回会議開催[東京：DPI日本会議事務局]（5月6日）

ウ．2008年度第1回会議開催[東京：全国心身障害児福祉財団ビル]（7月20日）

エ．2008年度第2回会議開催[東京：DPI日本会議事務局]（9月15日）

- オ. 2008年度第3回会議開催[電話会議] (12月9日)
- カ. 2008年度第4回会議開催[東京：DPI日本会議事務局] (1月11日)
- キ. 2008年度第5回会議開催[東京：DPI日本会議事務局] (3月8日)

⑤ 事務局会議及び関連会議等

- ア. 就労に関する聞き取り調査事務打合会議[東京：DPI日本会議事務局] (5月6日)
- イ. 社会保障審議会第35回障害者部会団体ヒアリング[東京：厚生労働省] (7月15日)
- ウ. 障害者権利条約ネットワーク設立準備会対応事前打ち合わせ[東京：DPI日本会議事務局] (11月16日)
- エ. DPI日本会議財政問題検討会[東京：DPI日本会議事務局] (1月11日)

⑥ 「障害者の地域生活確立の実現を求める全国大行動」実行委員会

- ア. 自立支援法政党シンポジウム&ロビーイング[東京：参議院会館等] (6月4～5日)
- イ. 厚生労働省前集会&厚生労働省交渉[東京：厚生労働省] (7月23日)
- ウ. もうやめようよ！障害者自立支援法1031全国大フォーラム[東京：日比谷公園野音] (10月31日)
- エ. 厚生労働省前集会&厚生労働省交渉[東京：厚生労働省] (2月2日)
- オ. 国会議員ロビーイング[東京：衆参議員会館] (4月15日)

⑦ 日本障害フォーラム

- ア. 第3回政府（厚生労働省）意見交換会[東京：外務省] (5月26日)
- イ. 「障害者権利条約」の発効を祝う会[東京：憲政記念館 霞ガーデン] (6月2日)
- ウ. 第4回政府（文部科学省）意見交換会[東京：外務省] (8月26日)
- エ. 第5回政府（内閣府）意見交換会[東京：外務省] (10月17日)
- オ. 第6回政府（厚生労働省）意見交換会[東京：外務省] (10月29日)
- カ. JDF地域フォーラムin岡山[岡山：ピュアリティまきび] (11月1日)
- キ. JDF地域フォーラムin大阪[大阪：大阪国際交流センター] (11月5日)
- ク. 第7回政府（文部科学省）意見交換会[東京：外務省] (11月27日)
- ケ. JDFフォーラムin東京[東京：灘ホール] (11月29日)
- コ. JDF地域みやぎフォーラムinせんだい[仙台：仙台市青年文化センター] (2月6日)
- サ. JDF地域フォーラムin京都[京都：京都労働者総合会館] (3月28日)

⑧ その他

- ア. 生活保護移送費問題、緊急院内集会[東京：衆議院第2議員会館] (6月19日)
- イ. 第1回アドボケーター養成講座[大阪：国際障害者交流センタービッグアイ] (9月7～9日)
- ウ. バリアフリー障害当事者リーダー前期研修[東京：新宿区立障害者福祉センター] (10月4～5日)
- エ. 生活保護の通院交通費、参議院10・8院内集会[東京：参議院議員会館] (10月8日)
- オ. 反貧困 世直しイッキ！大集会 [東京：明治公園] (10月19日)
- カ. 第2回アドボケーター養成講座[東京：戸山サンライズ] (10月22～24日)
- キ. 「6歳の春を分けるな」シンポジウム&コンサート[東京：東京都しごとセンター] (10月26日)
- ク. 2008年度交通統一大行動：バリアフリー新法のもとで乗車拒否をするな！[渋谷・蒲田] (10月26日)
- ケ. 労働・雇用分野における障害者権利条約への対応の在り方に関する研究会[東京：厚労省] (11月7日)
- コ. 交通アクセス行動と国土交通省交渉[東京：国土交通省] (11月19日)
- サ. バリアフリー障害当事者リーダー後期研修[東京：新宿区立障害者福祉センター] (2月7～8日)

(2) DPI北海道ブロック会議関連について

- ① 第6回DPI北海道ブロック会議通常総会&記念イベント[札幌市身障福祉センター] (6月28日)
- ア. 報 告：第24回DPI日本会議総会について

イ. 議 題：06年度活動経過報告、決算及び監査報告・07年度事業計画、予算及び役員体制各案等
 ウ. 記念イベント：障害があっても暮らしやすい北海道づくりを考えるフォーラム

～障害児・者への差別や偏見を解消し、だれもが安心して暮らせる北海道づくりをめざして～
 開会挨拶&報告「障害者権利条約に関する現状と課題について」

～「障害」と「障害者」及び「差別」の定義を中心として～

DPI日本会議副議長&DPI北海道ブロック会議議長 西村 正 樹
 記念講演「北海道における障害児・者の暮らしの現状から条例の意義を考える」

北星学園大学教授&DPI北海道理事 田中 耕一郎 氏
 シンポジウム「障害児・者が暮らしやすい北海道づくりを進めるために」

シンポジスト 北海道保健福祉部福祉局

障害者保健福祉課長 中野 孝 浩 氏

北海道議会議員（自民党・道民会議） 清水 誠 一 氏

北海道議会議員（民主党・道民連合） 林 大 記 氏

北海道議会議員（公明党） 佐藤 英 道 氏

北海道議会議員（日本共産党） 花岡 ユリ子 氏

コメンテーター 北星学園大学教授&DPI北海道理事 田中 耕一郎 氏

コーディネーター DPI北海道ブロック会議議長 西村 正 樹

② DPI北海道ブロック会議理事会（2ヵ月1回開催）

ア. 2007年度第6回会議開催[札幌市身障福祉センター]（6月7日）

イ. 2008年度第1回会議開催[札幌市身障福祉センター]（6月28日）

ウ. 2008年度第2回会議開催[札幌市社会福祉総合センター]（8月16～17日）

エ. 2008年度第3回会議開催[札幌市社会福祉総合センター]（10月5日）

オ. 2008年度第4回会議開催[札幌市社会福祉総合センター]（12月20～21日）

カ. 2008年度第5回会議開催[札幌市身障福祉センター&社会福祉総合センター]（2月28日～3月1日）

③ DPI北海道ブロック会議事務局会議

ア. 会議開催[札幌市：総合相]（4月11日）

イ. 会議開催[札幌市：総合相]（5月8日）

④ 第25回DPI日本会議全国集会関係会議

ア. 函館実行委員会準備会[函館市：函館市総合福祉センター]（1月24日）

イ. 函館実行委員会準備会[函館市：函館市総合福祉センター]（2月7日）

ウ. 函館実行委員会設立[函館市：函館市総合福祉センター]（2月11日）

エ. 第2回函館実行委員会[函館市：函館市総合福祉センター]（3月7日）

⑤ 障害者自立支援法に地域の声を届けよう北海道実行委員会(障害者自立支援法対応会議)

ア. 第69回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](4月7日)

イ. 札幌市議会公明党議員会との意見交換会[かでの2・7](4月8日)

ウ. 日本共産党札幌市議会議員団との意見交換会[札幌市社会福祉総合センター](4月15日)

エ. 札幌市議会自由民主党議員会との意見交換会[札幌市社会福祉総合センター](4月21日)

オ. 第70回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](5月7日)

カ. 第71回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](5月19日)

キ. 第72回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](6月9日)

ク. 第73回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](6月26日)

ケ. 第74回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](7月15日)

コ. 第75回会議開催[リンケージプラザ](7月23日)

- サ. 第76回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](8月4日)
- シ. 第77回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](8月19日)
- ス. 第78回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](9月5日)
- セ. 第79回会議&10.26北海道フォーラム実行委員会開催[札幌市身障福祉センター](9月18日)
- ソ. 第80回会議&10.26北海道フォーラム実行委員会開催[札幌市社会福祉総合センター](9月26日)
- タ. 第81回会議&10.26北海道フォーラム実行委員会開催[札幌市身障福祉センター](10月6日)
- チ. 第82回会議&10.26北海道フォーラム実行委員会開催[札幌市身障福祉センター](10月21日)
- ツ. 第83回会議開催[札幌市身障福祉センター](11月4日)
- テ. 第84回会議&札幌市障がい者による政策提言サポーター会議ミニ懇談会開催[札幌市身障福祉センター](11月18日)
- ト. 第85回会議開催[札幌市身障福祉センター](12月16日)
- ナ. 第86回会議開催[札幌市社会福祉総合福祉センター](1月27日)
- ニ. 第87回会議&第2期北海道障がい福祉計画(案)に関する意見交換会開催[札幌市社会福祉総合福祉センター](2月27日)
- ヌ. 第88回会議開催[札幌市身障福祉センター](3月17日)

⑥ 居宅支援に関する勉強会

- ア. 第1回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](6月5日)
- イ. 第2回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](6月12日)
- ウ. 第3回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](6月23日)
- エ. 第4回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](6月30日)
- オ. 第5回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](7月17日)
- カ. 第6回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](7月29日)
- キ. 第7回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](8月8日)
- ク. 第8回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](8月21日)
- ケ. 第9回会議&札幌市との交通費問題に関する意見交換会開催[札幌市社会福祉総合センター](9月12日)
- コ. 第10回会議開催[札幌市身障福祉センター](9月22日)
- サ. 第11回会議開催[札幌市身障福祉センター](10月7日)
- シ. 第12回会議開催[札幌市身障福祉センター](10月23日)
- ス. 第13回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](11月12日)
- セ. 第14回会議&(仮称)「新・札幌市バリアフリー基本構想」(案)に関する意見交換会開催[札幌市身障福祉センター](11月20日)
- ソ. 第15回会議[札幌市身障福祉センター](12月3日)
- タ. 第16回会議&札幌市交通費助成制度に関する意見交換会開催[札幌市社会福祉総合センター](12月9日)
- チ. 第17回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](1月7日)
- ツ. 第18回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](1月22日)
- テ. 第19回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](2月5日)
- ト. 第20回会議開催[札幌市身障福祉センター](2月26日)
- ナ. 第21回会議開催[札幌市社会福祉総合センター](3月11日)
- ニ. 第22回会議開催[札幌市身障福祉センター](3月26日)

⑦ 札幌市障がい者による政策提言サポーター会議

- ア. 懇談会
 - ・ 懇談会：テーマ「障がい者交通費助成制度について」 [WEST19] (8月21日)
- イ. ミニ懇談会
 - ・ 第1回ミニ懇談会 (札幌エルプラザ) (9月21日)
- ウ. ワーキング会議等

- ・ 第1回意見交換会〔札幌市視聴覚障がい者情報センター〕(7月11日)
- ・ 第2回意見交換会〔札幌市視聴覚障がい者情報センター〕(8月6日)
- ・ 第1回提言ワーキング会議〔札幌市身体障害者福祉センター〕(9月3日)
- ・ 第2回提言ワーキング会議〔札幌市役所〕(9月12日)
- ・ 09年度交通費助成制度に関する第1回提言ワーキング会議〔視聴覚障がい者情報センター〕(2月23日)
- ・ 09年度交通費助成制度に関する第2回提言ワーキング会議〔視聴覚障がい者情報センター〕(3月2日)
- ・ 09年度交通費助成制度に関する第3回提言ワーキング会議〔札幌市役所〕(3月10日)
- ・ 09年度交通費助成制度に関する第4回提言ワーキング会議〔視聴覚障がい者情報センター〕(3月17日)
- ・ 09年度交通費助成制度に関する第5回提言ワーキング会議〔視聴覚障がい者情報センター〕(3月23日)
- ・ 09年度交通費助成制度に関する第6回提言ワーキング会議〔視聴覚障がい者情報センター〕(3月31日)

エ. 提言書提出

- ・ 交通費助成制度に提言書提出〔札幌市役所〕(9月18日)

オ. 障がい者の声を聞く集い（障がい者交通費助成制度に関する意見交換会）

- ・ 第1回意見交換会〔札幌市北区民センター〕(12月20日)
- ・ 第2回意見交換会〔札幌市視聴覚障がい者情報センター〕(1月18日)
- ・ 第3回意見交換会〔札幌市白石区民センター〕(2月7日)
- ・ 第4回意見交換会〔札幌市豊平区民センター〕(2月21日)
- ・ 「札幌市の障害者交通費助成削減に反対する連絡会」との意見交換会〔札幌市視聴覚センター〕(3月2日)
- ・ 第5回意見交換会〔札幌市身障福祉センター〕(3月14日)

カ. その他

- ・ 第3期サポーター就任式、第1回事務会議〔札幌市役所〕(4月30日)
- ・ 第2回事務会議〔札幌市身障者福祉センター〕(5月30日)
- ・ 第3回事務会議〔視聴覚障がい者情報センター〕(8月19日)
- ・ 第4回事務会議〔視聴覚障がい者情報センター〕(10月10日)
- ・ 第5回事務会議〔視聴覚障がい者情報センター〕(10月27日)
- ・ 第6回事務会議〔視聴覚障がい者情報センター〕(11月21日)
- ・ 第7回事務会議〔視聴覚障がい者情報センター〕(12月16日)
- ・ 第8回事務会議〔視聴覚障がい者情報センター〕(1月23日)
- ・ 第9回事務会議〔視聴覚障がい者情報センター〕(2月18日)

<名簿>

相 原 正 義（NPO法人 すみれ会常務理事・事務局長）精神

浅 香 博 文（社団法人 札幌市身体障害者福祉協会事務局次長）肢体

小山内 美智子（札幌いちご会会長）肢体

片 石 松 蔵（北海道視覚障害者協議会事務局長）視覚

黒 田 澄 雄（コミュニティスペースじゃがいも運営委員長）肢体

佐 藤 由美子（地域活動センターほくと）知的・精神

鈴 木 昭 子（Café de Kibariya）知的

西 本 晃一郎（北海道精神障害者回復者クラブ連合会書記・DPI北海道ブロック会議副議長）精神

山 本 浩 之（社団法人 札幌聴力障害者協会事務局次長）聴覚

我 妻 武（メビウスの会代表）肢体

若 能 久 誉（ソフトバンクモバイル会社）肢体

⑧ 北海道地域生活移行システム検討委員会

ア. 施設利用者意向調査説明会

- ・ 実施団体：社会福祉法人アンビシャス〔3カ所〕(4月25日、5月16日)
- ・ 実施団体：NPO法人札幌アシストセンター・マザー〔8カ所〕(5月20・23・28日、6月4・5・10・11日)

イ. 調査結果とりまとめ(7月) & 関係団体・市町村への資料提供

ウ. 第4回会議開催[北海道庁] (9月24日)

⑨ 第五期札幌市福祉のまちづくり推進会議

ア. 第2回優しさと思いやりのバリアフリー検討部会[札幌市役所] (5月22日)

イ. 第3回優しさと思いやりのバリアフリー検討部会[札幌市役所] (9月12日)

ウ. 第2回札幌市福祉のまちづくり推進会議[ウエスト19] (10月8日)

エ. 第4回優しさと思いやりのバリアフリー検討部会[札幌市役所] (12月3日)

オ. 第3回札幌市福祉のまちづくり推進会議[札幌市役所] (2月25日)

⑩ 北海道福祉サービス第三者評価事業「第三者評価機関認証委員会」

ア. 平成20年度第1回第三者評価基準等証委員会[SCビル] (6月2日)

イ. 平成20年度第2回第三者評価基準等証委員会[かでの 2. 7] (8月21日)

ウ. 平成20年度第3回第三者評価基準等証委員会[かでの 2. 7] (2月9日)

エ. 平成20年度第1回第三者評価事業認証委員会 [SCビル] (3月11日)

⑪ 駐車禁止除外指定車標章の制度変更への対応について

ア. 第3回会議開催[かでの 2. 7] (4月23日)

イ. 第4回会議開催[札幌市身障福祉センター] (5月15日)

ウ. 調査結果及び署名活動に関する報告と挨拶[北海道警察本部交通部交通規制課] (5月19日)

エ. 署名実施記者会見[道政記者クラブ] (5月19日)

オ. 駐禁除外標章改正に関する署名実施(5月25日～8月25日)

カ. 第5回会議開催[札幌市身障福祉センター] (8月28日)

キ. 北海道警察との意見交換会[北海道警察本部] (9月11日)

ク. 北海道議会議長請願書 & 署名提出(106,926筆) & 記者会見[北海道議会・道政記者クラブ] (9月24日)
追加署名提出(427筆) 追加署名提出(591筆) <参考> 署名 107,944筆

ケ. 北海道議会総務委員会付託(9月26日)

コ. 北海道警察との意見交換会[北海道警察本部] (10月16日)

サ. 北海道警察との意見交換会[北海道警察本部] (12月17日)

シ. 警察庁より道府県警察本部に対象範囲の変更について通達(12月18日)

ス. 北海道公安委員会において対象範囲の変更が承認される(2月18日)

セ. 北海道警察との意見交換会[北海道警察本部] (2月20日)

ソ. 北海道公安委員会より交付対象者の一部変更が北海道公報で告示される(2月27日)

タ. 関係団体等への挨拶等[道議会、道政記者クラブ等] (3月6日 & 12日)

チ. 北海道議会総務委員会に付託されていた請願書が議決不要となる(3月27日)

⑫ 北海道障害児・者条例関連会議

ア. 「(仮称)北海道障害者が暮らしやすい地域づくり条例<概要・骨子案>」への意見提出[自民党・道民会議] (4月7日)

イ. (仮)北海道障害児・者条例「障害のある誰もが安心して暮らすことの出来る地域づくり」に関する関係団体との意見交換会[札幌ガーデンパレス：自民党・道民会議] (5月19日)

ウ. 障がい児・者の権利擁護条例(仮称)プロジェクト外部作業部会[北海道議会：民主党・道民連合] (6月20日)

エ. 北海道障がい児者が暮らしやすい地域づくりフォーラム[旭川市 敬生園：自民党・道民会議] (8月3日)

オ. 障がい児・者の権利擁護条例(仮称)検討プロジェクト第2回外部作業部会[北海道議会：民主党・道民連合] (8月22日)

カ. 障がいのある方やご家族などアンケート回答提出[民主党・道民連合] (8月29日)

キ. 障がい児・者の権利擁護条例(仮称)検討プロジェクトとの情報交換[自治労会館：民主党・道民連合]

(9月8日)

- ク. 地域づくり条例に関する意見交換会[函館市民会館：自民党・道民会議](11月20日)
- ケ. 障がい児・者の権利擁護条例（仮称）検討プロジェクト第3回外部作業部会[北海道議会：民主党・道民連合](12月1日)
- コ. 障害者の権利を守る福祉フォーラム[札幌グランドホテル：民主党・道民連合](12月6日)
- サ. 北海道障がい児・者が暮らしやすい地域条例案（仮称）に対する意見[自民党・道民会議](12月24日)
- シ. 障がい児・者の権利擁護条例（仮称）プロジェクト外部作業部会[北海道議会：民主党・道民連合](1月13日)
- ス. 北海道障がいがあっても暮らしやすい街づくりをめざして条例を作ろうタウンミーティング[函館市総合福祉センター](1月25日)
- セ. 北海道障がい児・者が暮らしやすい地域条例成立[北海道議会](3月27日22:56)

⑬ イラク自衛隊派兵反対訴訟原告団（DPI北海道ブロック会議事務局長参加）

- ア. 控訴審第1回弁論[札幌高裁](5月22日)
- イ. 第12回全国弁護団連絡会議[岡山市内](6月7～8日)
- ウ. 控訴審原告団会議[札幌弁護士会館](6月17日)
- エ. 控訴審第2回弁論[札幌高裁](7月24日)
- オ. 事務局会議[札幌弁護士会館](7月31日)
- カ. 控訴審第3回弁論[札幌高裁](9月30日)
- キ. 控訴審第4回弁論[札幌高裁](12月9日)
- ク. 原告団総括会議[合同法律事務所](1月23日)
- ケ. 原告団・弁護団と市民の集い[札幌弁護士会館](2月28日)

⑭ 反貧困キャンペーン・キャラバン北海道

- ア. 準備会[札幌司法書士会館](6月30日)
- イ. 事務局会議[中央区民センター](7月8日)
- ウ. 全体会議[かでる2・7](7月14日)
- エ. 街頭宣伝[道庁前&大通公園](8月8日)
- オ. 北海道知事&札幌市長へ要望書提出[道庁&札幌市役所](8月8日)
- カ. 反貧困全国キャラバン2008 札幌集会～人間らしい生活と労働の保障を求めて、つながろう！～[ちえりあ](8月8日)

⑮ 富田直史さんを偲ぶ会[札幌後楽園ホテル](7月31日)

⑯ 平成20年度北海道福祉のまちづくりコンクール審査委員会

- ア. 活動部門審査部会&福祉用具部門審査部会[北海道庁](7月18日)
- イ. 公的施設部門審査部会[北海道庁](7月28日)
- ウ. 公的施設部門現地審査[札幌市内](8月5日)
- エ. 最終審査審査委員会[北海道庁](8月18日)
- オ. 平成20年度北海道福祉のまちづくりコンクール表彰式[アクセスサッポロ](10月17日)
※「いきいき福祉2008」の会場（アクセスサッポロ）にて表彰式を開催

⑰ 北海道障がい者保健福祉施策研究会

- ア. 第1回研究会[北海道庁](5月26日)
- イ. 第2回研究会[北海道庁別館西棟](8月22日)

⑱ 札幌市重度身体障がい者の効果的な支援のあり方に関する調査・研修事業に係る検討委員会

- ア. 第1回検討会：アンケート調査項目の検討[札幌市社会福祉総合センター](10月29日)

- イ. 第2回検討会：調査結果の結果報告・実態調査項目の検討[札幌市社会福祉総合センター](12月18日)
- ウ. 第3回検討会：実態調査結果報告[札幌市身障福祉センター](1月29日)
- エ. 第4回検討会：課題検討[札幌市身障福祉センター](2月10日)
- オ. 第5回検討会：課題検討[札幌市社会福祉総合センター](3月5日)
- カ. 第6回検討会：課題検討[札幌市社会福祉総合センター](3月16日)
- キ. 第7回検討会：課題検討[札幌市身障福祉センター](3月19日)

- ⑲ 許すな虐待！見逃すな人権侵害！2009連帯共闘行動in札幌(DPI北海道ブロック会議事務局長告発参加)
- ア. 告発状提出[北海道警察、札幌地方検察庁](2月13日)
- イ. 集会[かでる2.7](2月15日)

⑳ その他

- ア. 「生活保護の通院移送費支給問題」への賛同(4月10日)
- イ. 「社会保障費2200億削減方針の撤回を求めて」への賛同(6月15日)
- ウ. 『「後期高齢者医療制度」加入を「重度心身障害者医療給付制度」の受給要件としないことを求める要望書』の提出[北海道庁](8月27日)
- エ. 「札幌市障がい者交通費助成制度」の見直しに関する要望等の提出[札幌市役所](8月29日)
- オ. 『「後期高齢者医療制度」加入を「重度心身障害者医療給付制度」の受給要件としないことを求める陳情書』の提出[北海道議会](9月3日)
- カ. 第2期北海道障がい福祉計画(案)に関する意見交換会[道庁](10月9日)
- キ. 「障害者自立支援法の見直しに関する意見」の提出[厚生労働省](11月10日)
- ク. 「福島みずほさんとトークしよう」に出席&発言[札幌テレビ塔](11月22日)
- ケ. (仮称)「新・札幌市バリアフリー基本構想」(案)に対する意見の提出[札幌市](12月5日)
- コ. 第2期札幌市障がい福祉計画(案)に対する意見の提出[札幌市](2月13日)
- サ. 第2期北海道障がい福祉計画(案)に関する意見交換会[道庁](3月3日)

2 広報、啓発、調査等事業

(1) 講演会、学習会等(主催・共催)

- ① 今こそ変えよう！「障害者自立支援法」10.26北海道フォーラム[北海道自治労会館](10月26日)
- ② 自治労道本部第8回福祉集会[かでる2.7](1月30日)

(2) DPI日本会議機関誌等への寄稿

- ① DPI北海道報告「駐車禁止除外指定車標章の改正にともなう対応2」(DPI Vol24.1 6月9日発行)
- ② ミニ特集「障害者雇用」(DPI Vol24.1 6月9日発行)
- ③ DPI北海道報告「第6回DPI北海道総会から～条例制定をめざして～」(DPI Vol24.2 7月17日発行)
- ④ DPI北海道報告「駐禁除外指定車標章と北海道第2期障がい福祉計画等への取り組みから」(DPI Vol24.3 10月16日発行)
- ⑤ DPI北海道報告「10.26北海道フォーラムと条例づくりなどの取り組みから」(DPI Vol24.4 1月1日発行)
- ⑥ 第1特集「平成21年度障害保健福祉関係予算—今回の予算案に対する不安と今後への期待—」(ノーマライゼーション障害者の福祉3月号・3月1日発行)

(3) ホームページの充実とメーリングリスト・メール、FAXによる各種情報提供

- ① ホームページ更新回数 8回
- ② メール等による情報提供 228回

(4) 講演会、諸会合への講師・来賓出席等

- ① 障道協総会[札幌市身障福祉センター](5月25日)
- ② 第13回精神障害者社会参加促進研修会 & 第24回道回連総会[札幌市社会福祉総合センター](7月6日)
- ③ 第12回ヨットエイド北海道[石狩湾新港西地区](7月15日)
- ④ 障害者雇用促進のための道民フォーラム[ライフオート札幌](8月3日)
- ⑤ 第14回社会福祉研究交流集会in北海道[札幌学院大学](8月30～31日)
- ⑥ 第57回育成会全国大会・第53回全道大会[ホテルロイトン札幌・かでの2・7](9月13～14日)
- ⑦ 全国障害者問題研究会北海道支部第30回夏期学習会[札幌学院大学](9月14日)
- ⑧ 平成20年度北海道・東北ブロック家族会精神保健福祉促進研修会[札幌エルプラザ](10月2日)
- ⑨ 障がいがあっても暮らしやすい街づくりタウンミーティングin道南[道教育大函館校](10月12日)
- ⑩ 第57回全道身体障害者福祉大会北斗大会[北斗市総合文化センター](10月25日)
- ⑪ 地域生活北海道フォーラム「障害者権利条約」に学ぶ[釧路市生涯学習センター](11月2日)
- ⑫ 北海道身障・知的相談員専門研修[かでの2・7](11月10日)
- ⑬ 自治労道本部第8回福祉集会[かでの2・7](1月30日)
- ⑭ 北海道障がいがあっても暮らしやすい街づくりをめざして条例を作ろうタウンミーティング[函館市総合福祉センター](1月25日)

(5) 会費納入促進と賛助会員の募集及び拡大について

3 共催、協賛、後援事業

- (1) 協同労働の協同組合法制化を求める市民の集いin北海道[札幌エルプラザ](4月13日)
- (2) 2008年度第1回移送サービス運転協力者代替講習会札幌開催[リンケージプラザ](4月26日)
- (3) 2008年度第1回移送サービス運転協力者講習会札幌開催[リンケージプラザ](4月26～27日)
- (4) 2008年度第2回移送サービス運転協力者代替講習会札幌開催[リンケージプラザ](5月24日)
- (5) 2008年度第2回移送サービス運転協力者講習会札幌開催[リンケージプラザ](5月24～25日)
- (6) きょうされん結成30周年記念映画「ふるさとをください」北海道上映会[全道各地](6月～)
- (7) 2008年度第4回移送サービス運転協力者講習会札幌開催[あいのさとサポ-トセンター](6月14～15日)
- (8) 福祉人材確保に関する公開シンポジウム[北海道自治労会館](7月19日)
- (9) 新たな公共サービスとしての移送サービスの可能性を考える研修会[夕張はまなす会館](7月19～20日)
- (10) 2008年度第5回移送サービス運転協力者講習会札幌開催[夕張市社会福祉協議会等](7月20～21日)
- (11) 第16回障がい者にやさしい北海道の旅[旭山動物園・沼田町等](7月20～21日)
- (12) 第3回さっぽろ元気まつり[中島公園](8月2～3日)
- (13) 障害者雇用促進のための道民フォーラム[ライフオート札幌](8月3日)
- (14) 障がいがあっても暮らしやすい街づくりタウンミーティングin道南[道教育大函館校](10月12日)
- (15) 夢を運ぶ車いす～コンドカール・アラム氏講演会～[リンケージプラザ](10月25日)
- (16) 地域生活北海道フォーラム「障害者権利条約」に学ぶ[釧路市生涯学習センター](11月2日)
- (17) 北海道障がいがあっても暮らしやすい街づくりをめざして条例を作ろうタウンミーティング[函館市総合福祉センター](1月25日)
- (18) おでかけ達人第3弾「車イスで旅をしよう！」完成記念講演会[かでの2・7](3月15日)
- (19) 平成20年度北海道ノーマライゼーション推進セミナー[アスティ4・5](3月16日)